

■ 前回の例会記録

第3400回 2023年10月10日(火)

【ゲスト卓話】
宮崎神宮宮司 本部 雅裕 様
「日向神話のあれこれ」

出席状況報告

会員数(名誉会員2名を除く)	105名
例会出席会員数	77名
同上出席率	74.75%

■ 今回の例会予定

第3401回 2023年10月13日(金)~15日(日)

国際ロータリー第2730地区 地区大会

■ 次回の例会予定

第3402回 2023年10月24日(火)

【ゲスト卓話】
宮崎県人権啓発センター
人権啓発専門員 田原 新一 様
「アイコンシャス・バイアスと人権」

■ 幹事報告

- 配布物
・週報No.13・定例親睦会の案内、11月プログラム
- 来週の17日は特別休会となるため例会はございません
- コロキョームの出欠について
- お出迎え担当者の方へアナウンス
- 地区大会ドレスコード 再確認
- 池ノ上ガバナーの動き
10月17日 都城北 佐藤・廣川・松崎 会員
18日 廣川・中村隆美 会員
23日 からは宮崎南からのスタート
寺坂、寺原会員が随行

■ ビジター会員



第47代会長
定永 正明 名誉会員



Happy Box
金丸 宜裕 会員

本日、2番目の孫が5歳の誕生日を迎えました。埼玉県から宮崎に帰省して、江田神社で七五三詣りをしましたので、Happyさせていただきます。

■ 会長の時間



第12回 会長卓話②

岡本 俊則 会長

皆様こんにちは先週末ぐらいから朝夕は本当に涼しく、澄み切った青空に秋の深まりを感じ始めました。とうとう大会前最後の例会となりました。あと三日で開催です。

本当にあっ!という間の時間でしたが、準備はしっかりと終えたことと思います。

今月は《地域社会の経済発展月間》そして《米山月間》となっていますが、ここはやはり地区大会の話させて頂こうかなと思っています。

まずは、おさらい、ドレスコードの再確認です。男性会員はダークスーツ(黒、紺、グレー系)にマッキナリータイ、左襟にロータリーバッジ・マッキナリーバッジ・左胸にはネームプレートとコサージュ、そして右襟にファイブベイベーズバッジで完成です。女性会員はダークスー

にはこだわりません華やかにおもてなし感を演出してください。ロータリーバッジ・マッキナリーブローチにコサージュ(リストブーケ)とネームプレートの四点セットの着用をお願い致します。

また、当日の人員配置につきましては、後ほど実行委員会からご案内があらうかと思っておりますので確認いただきたいと思います。皆様の役割は一人一人が異なったものとなっていると思っておりますので、ご自身の役割がいま一つ分かっていない等、当日の動きにご不安がある方は岩切崇徳副実行委員長もしくは各部長に確認をして頂き、確実に理解をしていただくようお願いいたします。

我々宮崎ロータリークラブは本大会のホストクラブです。ご参加いただく方はすべてがお客様であります。当クラブメンバー全員がおもてなしの心を持ってお客様に対応して参りましょう。

受付・お出迎えでは「いらっしゃいませ。ようこそおいで下さいました。」

お見送りは「本日はありがとうございました。」一人一人がこのワードを多用しましょう!

また、15日の第二本会議では先般の会長卓話でお話をさせていただきました各種表彰が執り行われます。この時間は出来るだけ会場で生の表彰をご覧意識の共有化を語りたく思いますのでプログラムを確認の上、スケジュールのご調整をお願い致します。

この表彰の中で“マイ・ロータリー登録”の表彰があります。これは100%の登録をしていれば確実に一位の表彰を受けられるものです。来年の地区大会でも確実に一位にならなくてはなりません。新入会員方は確実にこの登録を完了していただきたいと思っております。登録の詳しい手順につきましては雑誌・ITの杉田和也委員長または事務局にご確認をお願い致します。手順を間違とうと結構面倒な事になるので必ずご確認してから作業を行って下さい。

兎にも角にもあと三日で地区大会が開催されます。宮崎ロータリークラブ全員が一丸となって大会の運営にあたりましょう。皆様のご協力宜しくお願い致します。以上で本日の会長の時間は終わります。ご清聴ありがとうございました。

■ 池ノ上克ガバナーより



地区大会へのご協力のお願いと意気込み

■ ゲスト卓話



『日向神話のあれこれ』

宮崎神宮宮司
本部 雅裕 様

皆様こんにちはご紹介頂きました宮崎神宮宮司でございます、本部と申します。今日はどうぞよろしくお願いいたします。開会の始めにこのロータリーの例会が3400回というお話を聞きまして、伝統ある古いロータリーだという風に思いました。

私自身の頭の中には2683という数字が一番古いと思っていましたが、今日は負けました。その2683という数字は、神武天皇がご即位になった年を元年として今年が2683年です。皇紀とか紀元という数え方が昔からあるわけですが、世の中どういことか西暦というのが世の中に蔓延っています。これはキリストさまがお生まれになってからの年数であり、キリスト教の方は良いのですが、神道の私としては、2683の方がしっくりくる訳でございます。これは余談で、勝手なことを言わせて頂きました。

本日は『日向神話のあれこれ』と題しまして、13:30迄の25分間の短縮授業という事でお許しを頂きたいと思っております。お配りしている資料に日本書紀を書いてありますが、これを見ただけ「もう眠い」という方もいらっしゃるでしょう。これを全部解釈するには時間が足りませんので、その中盤である宮崎で伝わっているというお話を中心に進めてまいります。

第一弾は鶴戸神宮のご祭神、鷲草草不合尊(うがふきあえずのみこと)様が、おばさまの玉依姫(たまよりひめ)をお妃にして、彦五瀬命(ひこいつせのみこと)、稲飯命(いなのみこと)、三毛入野命(みいけいりのみこと)、そして神日本磐余彦尊(かむやまといわれびこのみこと)の四人の男の子をお生みになりました。神日本磐余彦尊が神武天皇様であり、四男坊だという事がわかります。神武天皇様のお名前は、別の本の言い伝えに寄りますと、小さい時のお名前が狭野尊(さのみこと)であった事が分かりますし、別の名を神日本磐余彦尊と言ったという事です。そこで狭野神社、あるいは鶴戸神宮のいわれがここに出できます。

狭野神社は狭野尊に由来しており、また皇子原というのでも出てきます。ただここで言いたいのは、日本書紀にはこの記述だけですが、神武天皇様、いわゆる狭野尊は狭野神社でお生まれになり、若いころは宮崎神宮でお育ちになられたという事です。よく遊ばれた公園は皇子原であったということを宮崎県人は広く捉えて今



でもこのように言っています。次に、神武天皇様はお生まれになった時から非常に聡明であった事が書いてあります。15歳で皇太子の御位に就かれました。そして45歳でいわゆる神武東遷、宮崎の宮を出発して、3人のお兄さんと良く相談されて、我が国を平定しようという志をたてられたという事がわかります。そこでご相談された内容は、東の方向に良い国があるようで、周りは青く茂った森があり、国の中心であるらしい。そこに行くと都を作ろうと相談されたという事です。東の国に行こうとお兄さんや舟師を連れて出発をされて、いきなり即吸之門に至ります。大分海峽、大分と四国との海峽にすぐ行ったという記述があります。そこで日向の国のお話ですが、私の出身地である新富には、座論梅という神武天皇様が軍の会議を開かれたという場所があり、その座論梅のすこし下手にはお湯浴みの跡というお風呂をめされ、1泊された場所もあります。また、都農神社で戦勝祈願をされ、美々津の浜から出られて島と島の間を行かれた、その船がおきよ丸だったと言われています。急に行く事になったので、お土産のお餅がつけず、あんこと一緒に作ったのがつきいれ餅だと言っています。つい先日ニュースでもありましたが、おきよ丸が出発する際に、住民が寝静まっていたので、子供が笹を持って「起きよ、起きよ」と家を回ったとの話

もあります。この話は、実は日本書紀には出てきませんが、宮崎県の方が嘘を伝えてきた訳ではないということをごここで申し上げておきます。

今年ももう少しで神武さまが始まります。神武さまの行列は神武東遷の出発の様子を模した物だと言われており、出発の前日が宮崎神宮の例祭、10/26宮崎神宮で一番大きなお祭りです。ご東遷の列が出発されたのは、次の日の10/27だという事です。今では御神幸行列となり、神武さまは土日で行われています。

そして、辛酉の春正月に至るまで7年余り掛かったと言われており、途中で色々な人の反抗にあい、彦五瀬命を始めとするお兄さん方は戦死されましたが、ついに橿原の宮で即位をされました。この年を天皇の元年として、それから2683年経っているという事です。

これまで、神日本磐余彦尊でしたが、天皇に即位されて神日本磐余彦天皇となりました。そして七十有六年にご崩御されました。天皇様がお隠れになる事を崩御と言います。その時の年齢が127歳だったという記述が日本書紀にあり、橿原の畝傍山に御陵を作り葬りました。建国記念の日というのもここから来ており、天皇のご即位の日が我が国の誕生の日となり、宮崎神宮では紀元祭というお祭りをしています。一方、橿原の宮で即位され、お亡くなりになりましたので、明治になって



から橿原神宮が作られ、神武天皇様を祀る第一の宮という事になっており、2/11は例祭が行われ、天皇陛下の勅使も毎年訪れ、お供え物をささげられています。また、神武天皇陵が作られ、そちらに向けてお参りをするというお祭りもあります。天皇がお隠れになり、しばらくして追号が行われ、神武天皇というお名前を授けられました。したがって、昭和天皇という場合も、昭和天皇様がお隠れになったあとに昭和天皇というお名前が付くわけで、上皇陛下のことを平成天皇、今の天皇陛下のことを令和天皇というのは、大変失礼な言い方となります。

このように、お名前がずっと変わってきたという事と、御神幸行列は神武東遷にならって今に伝わっているというものなのです。

まとめですが、

- ① 私は宮崎神宮におつとめしており、ご祭神は、神日本磐余彦尊、のちの神武天皇様ですが、一緒にお父様の鷲草不合尊様とお母さまの玉依姫様の御柱をお祀りしています。考えてみますと神代の最後に現れた鷲草不合尊様と人の代の第一代天皇である神日本磐余彦尊様を一緒にお祀りしています。我が国は神の世と人の世は連続しているという事がわかり、そのお2人の神様にお仕えるという事は、大変ありがたい事だと思います。
- ② 宮崎の人は神武天皇様を我が家のおじいさんのように親しみを持って接しています。日向の祖神とあがめる宮崎人もいます。そして宮崎こそ、日向の国こそ皇室の故郷だと自負しているのが宮崎県人です。こういったことを宮崎県人は次代に繋いでいく気持ちがあると考えております。

付録として、神武天皇様は日向の人の優秀な人を連れていったと聞いています。私の先祖は神武様の第一次試験に受からなかったといういじけた感じもしますが…、一方で、優秀な人を連れて行って、建国の大きな支えになったのは宮崎の先輩方だという誇りでもあります。この話は今後とも皇室のふるさと、宮崎・日向というのを伝えていければ良いなと思っております。

■ ローター財団委員会より



グローバル補助金
奨学生レポート

ロータリー財団委員会

委員長 平嶋 孝次 会員

- 財団委員会からご報告いたします。
「グローバル補助金」を活用したイギリスへの奨学金「別当了香さん」からレポートが届きましたので、概要をご報告いたします。
- ・10月より授業が開始 学部は世界各国からの留学生が大半 日本人は一人
 - ・授業一週目終了時点での感想 英国は自主学习が基本であり、講義とセミナー、共に進行が早く、予習が必須 日本とはかなり違った学習環境で英語でのディベードに苦勞している。
 - ・受入れクラブの「ブライトンビーチサイドクラブ」メンバーの代表者と面談し、早速来月ブライトン駅でのボランティア活動に参加予定。
 - ・休日には、大学横のスタジアムにて、三苦薫(みとま かおる)選手のゴールも観戦 ※プレミアリーグ ブライトン・アルビオンFC所属

結びに、「大学の学びだけでなく、ロータリークラブ活動等、地域の人との交流の場をもつことができるロータリー奨学金は、留学生にとってかけがえの無い経験を積むことができる魅力的な制度であると改めて感じております。頑張っている三苦選手に勇気をもらいました」と元気なレポートをいただきました。以上ロータリー財団からのご報告でした。



池ノ上ガバナー 公式訪問

(今週の予定)

10/17(火) 都城北	●随行者/ 佐藤嘉信、廣川拓也、松崎裕介
10/18(水) 都城西	●随行者/ 廣川拓也、中村隆美
10/23(月) 宮崎南	●随行者/ 寺坂文博、寺原一種
10/24(火) 宮崎アカデミー	●随行者/ 長友剛
10/25(水) 佐土原	●随行者/ 日高陽一、長友あい
10/26(木) 高鍋	●随行者/ 廣川拓也、岩切崇徳
10/27(金) 宮崎西	●随行者/ 佐藤嘉信、廣川拓也、河東太浩

Rotary
第2730地区
宮崎ロータリークラブ



本年度(2023~2024)宮崎ロータリークラブの目標

- ①国際ロータリー第2730地区 地区大会をホストクラブとして開催
- ②池ノ上ガバナーの活動支援
- ③青島太平洋マラソン3キロの部 復活開催
- ④会員数100名以上の堅持と女性会員の増強
- ⑤例会出席率90%以上の確保
- ⑥ロータリー財団寄付一人あたり100ドル以上
- ⑦米山奨学会寄付一人あたり10,000円以上

<会長> 岡本 俊則
<副会長> 藺田 潤子
<幹事> 藺田 有美
<会報委員会> 福松 修一郎

■例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)
■例会場/宮崎観光ホテル(☎27-1212)



日本の
ひなた
宮崎県

■事務局 宮崎市宮田町13番8号(田崎ビル) TEL:24-4872 FAX:22-0288
URL:https://miyazaki-rc2730.jp E-mail:m-rotary@miyazaki-rc2730.jp

【日本書紀】岩波文庫

彦波瀲武鸕鷀草不合尊、其の姨玉依姫を以て妃としまふ。彦五瀬命を生しませり。次に稲飯命。次に三毛入野命。次に神日本磐余彦尊。凡て四の男を生す。

一書に曰はく、…狹野尊。亦是神日本磐余彦尊と号す。狹野と所稱すは、是、年少くまします時の号なり。…後に天下を撥ひ平けて、八洲を奄有す。故、復号を加へて神日本磐余彦尊と曰す。

神日磐余彦天皇、…生れましながらにして明達し。意確如くまします。年十五にして、立ちて太子となりたまふ。…年四十五歳に及びて、諸の兄及び子等に謂りて曰はく、…

…「東に美き地有り。青山四周れり。…蓋し六合の中心か。…何ぞ就きて都づくらむ」とのたまふ

其の年の冬十月の丁巳の朔辛酉に天皇、親ら諸の皇子・舟師を師めて東を征ちたまふ。即吸之門に至ります。

「宮崎の宮」座論梅 お湯浴みの跡 都農神社
美々津 おきよ丸 つきいれ餅 おきよ祭り
宮崎神宮例祭 御神幸祭「神武さま」

辛酉年の春正月の庚辰の朔に天皇、橿原宮に即位す。是歳を天皇の元年とす。…号けたてまつりて神日本磐余彦天皇と曰す。…
七十有六年の春三月の甲午の朔甲辰に、天皇、橿原宮に崩りましぬ。時に年一百二十七歳。…畝傍山の東北稜に葬りまつる。

建国記念の日(紀元祭) 橿原神宮
神武天皇陵 追号 神武天皇

まとめ

- ① 神代の最後の神さま鷲草不合尊と、人の代の最初の神さま神日本磐余彦尊を一緒に祀る宮崎神宮 神代と人の代との連続性、一体感。
- ② 神武天皇を日向の祖神とあがめる宮崎人。皇室のふるさと。

「神武さまは、日向の人びとの、優秀な者だけをつれて行きやっただけな。…」